JC LIFE

2016年 10月号

まちと人と大輪を築こう

JCI 一般社団法人尾道青年会議所 http://www.ojc.or.jp/ 〒722-0035 尾道市土堂2-10-3 尾道商工会議所ビル3F
TEL：0848-20-1110 FAX：0848-20-1112 E-mail：ojc@urban.ne.jp Facebook：http://www.facebook.com/isojcnow

9月例会

災害のリスクを知ることから始まる 強いまちづくり

9月16日（金）尾道国際ホテルにて9月例会が開催されました。

本年は熊本地震が発生し、尾道でも大雨による土砂災害があったことから、青年会議所の皆様に自然災害について真剣に考えていただきたい、防災意識を高めてもらいたいと考え、テーマを「災害のリスクを知ることから始まる強いまちづくり」と題し、例会事業とさせていただきました。

まず最初に、尾道における自然災害のリスクを学んでいただきました。地震や津波、大雨による被害等、具体的に尾道のどこでどの程度の被害が出る可能性があるのかを知っていただく事で、自然災害のリスクが間近にあることを知っていただきました。

その後、クロスロードゲームを行いました。クロスロードゲームは阪神淡路大震災を経験された方の意見を元に作成されたゲームで、自然災害に直面した際には苦渋の選択を迫られるのだということを具体的に考えていただきました。

例会中だけでなく、例会後にも自然災害やその対策について活発な意見を多く聞くことができ、尾道青年会議所メンバーの自然災害に対する防災意識が間違いなく高まったと思います。

9月例会にご参加いただきました皆様、本当にありがとうございました。

（記事：まちづくり推進委員会 委員長　中司 昌克）

卒業生スピーチ

山本 邦人

別に定款はっかりやっていた訳ではないのです、多少自分なりに振り返ってみて、思ったこととかを皆様にお伝えできたらなというふうに思います。まず、私はどういう人間かといいますと、団体行動というものが大変苦手ということで仰せつかりましたので、私自身は委員長経験とか特にないんですが、皆さんご存じのとおり、JCというのはお金持ちのお遊戯会だとか、そういうふうに揶揄されることもありましたし、私自身サラリーマン家庭で育っておりますし、大学を出て22から26歳まで普通にサラリーマンとして肉の卸業のルートセールスをしてまして、あんまり経営者方となじみが全く無かったので、積極的に入会をしようとは思っておりませんでした。ですが、色々ありまして、紆余曲折ありまして、平成21年に入会することとなりました、ということで、あんまり積極的に入会したわけではないですけども、入会してからはですね、司法書士という職業柄から、当初から一般社団法人の移行というちょっと重たい作業があったりとか、その後は定款、運営規定の改正というようなことで、法律的に正がありまして、なかなかこの青年会議所は特殊な法人で不連続の連続ということも言われますが、毎年毎年トップが代わるということで、なかなか普通の会社、法人とかと同じようにはできなくて苦労したのを覚えております。こういった作業というのは去年、本多理ごと長の元ですね、専務だった池田誠さんとか、色々な人に助けて頂きまして、まあ、なんとか、尾道青年会議所らしい運用が出きるようになったのじゃないかなとい風に思います。私は、入会して、そういうことで、ずっと定款、運営規定の改正というのをとの委員会に属していてもやっていたわけなんですが、毎年のように選挙の時期とか理事長が代わると、必ず電話がかかってきて、必ずその方々から、「どうしてこのLOMはこういうふうな規定になっているのに何で尾道はこうなの？」とか批判を受けてました。正直いってですね、その時、その度に、「総会で決めたことじゃないか」と思ったりもしましたし、正直いって腹が立ちました。そういうことですね、色んなことがあったんですが、去年なんかは本多さんのお力添えでなんとか、できることができました。当初、入会して3年くらいの間は、安楽城さんはよく知っていると思うんですけども、私自身、自分の現状を肯定できないような、自分が居ましたし、心も狭くんがって心に壁を作るような、そういう人でした。ただ、40才という年齢になって、今年の委員会とかを見てみますと、当たり前ですが私自身は最年長なり周りを見ると、みんな私より若いので、引きこもりになることはないですし、心に壁もなく、すごいなあと、自分の意見はしてちゃんと言う、若いのにスゴイなと、私の当時の年齢からしたら、ちょっと考えられないなというような方々に囲まれて一年過ごしてまいりました。また不思議と今年は、加度君と、井上君と、中谷委員長とで、この三人が、私の二人の年ほどの間で自分より年下だった委員長が三人おるわけですが、その三人が、緒の委員会ということで、縁のようなものを感じました。それぞれ委員長された方を、フロアメンバーで、委員長やったこともないのでアレなんですけど、三みますと、加度委員長はですね、2013年に委員長されまして、ほぼ加度商で過ごす、というような委員会だったんですけども、加度君自体は、当時、副理事長が坂本さんであったりだとか、高橋司さんとかですね、そういう力のある方々、平気で、嘯みついていて離さないというような、なかなか美しい人ではあったんですけども、色んな事業を準備するときに、必ず1週間前から準備を始めるという、夏休みの宿題のような人でして、はっきりいって、周りのメンバーは迷惑でした。井上君のほうは、2013年度だったと思いますけど、西国寺さんのわらじを作ってる時に、初めて近くで見ることがありましたけど、西国寺さんのわらじをなぞっしがとても職人さんらしい、人ほんとスゴイなあと思って、話しかけたら怒られるんじゃないかなというような顔をしてたんですが、去年ですね、総務委員長やるとですね、ぶれまくり人の意見に左右されてしまって、昨日と今日と言うとることが違うじゃないかと、こういう委員長でして、あの時の鋭いまなざしはどこにいったんだろうなという方だったように思います。ただ、井上さんはですね、人を批判をすることもないし、心の大きな、自分には全くないところがありまして、大変尊敬もしております。最後に今年の中谷委員長は、今年はほんとに大変なお方だったと思うんですけども、二人の若い委員長とはまた違った、情報を集める能力であるとか、こと前の準備であるとかですね、弁も立つし、バランスが非常にいいと思うんですけども、反面非常に腹黒く、計算高い人で、ほんとになんで機械器具設置業みたいなことをやっているのか、前も言いましたけど、政治家の秘書になれば一番良かったんじゃ無いかなという風に僕は思っております。ということでいろんな委員会のほう属していきまして、こういった引きこもりのような性格からですね、2013年度だったと思いますけど、西国寺さんのわらじを作ってる時に、初めて近くで見ることがありまして、この年の1月間、特に委員長やるとですね、ぶれまくり人の意見に左右されてしまって、昨日と今日と言うとることが違うじゃないかと、こういう委員長でして、あの時の鋭いまなざしはどこにいったんだろうなという方だったように思います。ただ、井上さんはですね、人を批判をすることもないし、心の大きな、自分には全くないところがありまして、大変尊敬もしております。最後に今年の中谷委員長は、今年はほんとに大変なお方だったと思うんですけども、二人の若い委員長とはまた違った、情報を集める能力であるとか、こと前の準備であるとかですね、弁も立つし、バランスが非常にいいと思うんですけども、反面非常に腹黒く、計算高い人で、ほんとになんで機械器具設置業みたいなことをやっているのか、前も言いましたけど、政治家の秘書になれば一番良かったんじゃ無いかなという風に僕は思っております

とるのに「人だけ」C はうびですよ。こいつはふとくねーなと思って。いやほんと酷かった。人が怒ってるのに淡々と答えるから余計イラッとする。でもフ人の電気屋さん、山本慎也。これもほんま酷い。頼んだ事の日程反切るんですよ。何日までに何日までに。でも僕らも怖いんで全部準備はしてるんですけど、何日までにやって来い。まあやらない。最後の三日前くらいになって、やったんか？と出来てないですって」。ほんまこいつだけはいい加減にせいよと思いました。で加度お前怒って来いや、って言っても加度も大して変わらないけど。まあありがとうございます。

加度君ごの日会える？「いや、この日契約です。」この日、この時間は？「午後の1時から1時半の間なら」こいつほんと毎回でしたね。後もう二人の電気屋さん、濱本すみおさんね、これも酷い。もう電気屋3人総悪です。もう今年苛めるかもしれんって聞いてて、いやいや森石君来なかったら誰が出るんや、もう恐怖ですよ。まあでも森石君にはすこぶる助けてもらった。森石君おらんかったら事業の成功も無かったかなと、ありがとうございます。それでまた谷前さん、谷前さんにはいろんな事でお世話になったんで、今回はゆっくりしてもらいたいなって思ってたんで、何もお願いする事も無く、自分の力でやりたいなってすごく思ってたんです。とにかく谷前さんには頼らないようにしようって心がけて一年やって、終わったら「青ちゃん何もしてくれなかったから寂しかったー。」って言われたましが谷前さんありがとうございました。であと穂君ね。穂君はねーその年に彼女が出来て、最初彼女ができたから彼女優先すればいいよって、ちょっと優しく言ったんですよ。そしたら調子ていて「いや、青山さん、今日彼女とデートなんで。」毎回言うんです！もう内心腹立ってましたよ。でも僕らも怖いんで全部準備はしてるんですけど、何日までにやって来い。まあやらない。最後の三日前くらいになって、やったんか？と出来てないですって」。ほんまこいつだけはいい加減にせいよと思いました。で加度お前怒って来いや、って言っても加度も大して変わらないけど。まあありがとうございます。

加度君ごの日会える？「いや、この日契約です。」この日、この時間は？「午後の1時から1時半の間なら」こいつほんと毎回でしたね。後もう二人の電気屋さん、濱本すみおさんね、これも酷い。もう電気屋3人総悪です。もう今年苛めるかもしれんって聞いてて、いやいや森石君来なかったら誰が出るんや、もう恐怖ですよ。まあでも森石君にはすこぶる助けてもらった。森石君おらんかったら事業の成功も無かったかなと、ありがとうございます。それでまた谷前さん、谷前さんにはいろんな事でお世話になったんで、今回はゆっくりしてもらいたいなって思ってたんで、何もお願いする事も無く、自分の力でやりたいなってすごく思ってたんです。とにかく谷前さんには頼らないようにしようって心がけて一年やって、終わったら「青ちゃん何もしてくれなかったから寂しかったー。」って言われたましが谷前さんありがとうございました。であと穂君ね。穂君はねーその年に彼女が出来て、最初彼女ができたから彼女優先すればいいよって、ちょっと優しく言ったんですよ。そしたら調子ていて「いや、青山さん、今日彼女とデートなんで。」毎回言うんです！もう内心腹立ってましたよ。でもほんとに浩太がいてくれたらって言われて「起きて下さいって。」